

## 浅川清流環境組合地球温暖化対策実行計画(地球温暖化対策の推進に関する法律による地方公共団体実行計画)に基づく温室効果ガスの排出状況

浅川清流環境組合(以下、「本組合」という。)では、地球温暖化対策の推進に関する法律(以下、「法」という。)第21条の規定に基づき、浅川清流環境組合地球温暖化対策実行計画(以下、「本計画」という。)を策定しました。  
本計画及び法第21条第10項では、毎年本計画に基づく措置及び施策の実施の状況を公表することとされています。  
令和6(2024)年度の状況は次のとおりです。

温室効果ガスの種類別排出の内訳(二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)換算)

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出の主な要因	基準年度 令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	前年度との差	基準年度との差	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	(単位:t-CO <sub>2</sub> )
															削減目標 3.27%減
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> ) 【エネルギー起源】	燃料の使用	212.4	241.0	256.6	306.5	251.5	▲ 55.0	+39.1							—
	外部(他人)から供給された電気の使用	26.7	21.7	69.7	48.2	43.8	▲ 4.4	+17.1							—
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> ) 【非エネルギー起源】	廃プラスチックの焼却	22,973.7	25,426.3	22,961.7	22,308.8	22,489.7	+180.9	▲ 484.0							—
メタン(CH <sub>4</sub> )	自動車の走行 ※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	+0.0	+0.0							—
	一般廃棄物の焼却	1.5	1.4	1.4	1.4	1.5	+0.1	+0.0							—
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	自動車の走行 ※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	+0.0	+0.0							—
	一般廃棄物の焼却	1,048.0	1,021.5	973.1	966.8	857.8	▲ 109.0	▲ 190.2							—
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	自動車用エアコンの使用 ※1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	+0.0	+0.0							—
六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	絶縁ガスとしてSF <sub>6</sub> が封入された変圧器、遮断機等電気機械器具の使用や点検等	5.2	5.2	5.2	5.2	5.3	+0.1	+0.1							—
合計		24,267.5	26,717.3	24,267.8	23,636.9	23,649.7	+12.9	▲ 617.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23,474.0
削減目標との差		793.5	3,243.3	793.8	162.9	175.7	—	—	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	—

※1 排出量が非常に少ないので、単位をt-CO<sub>2</sub>で表すと0となっている。

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計の値が合計欄の値と一致しない場合がある。

要因別温室効果ガスの排出の内訳(二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)換算)

温室効果ガスの種類	基準年度 令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	前年度との差	基準年度との差	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	削減目標 3.27%減	
廃プラスチックの焼却	22,973.7	25,426.3	22,961.7	22,308.8	22,489.7	+180.9	▲ 484.0							—	
一般廃棄物の焼却	1,049.5	1,023.0	974.5	968.2	859.3	▲ 108.9	▲ 190.2							—	
燃料の燃焼	212.4	241.0	256.6	306.5	251.5	▲ 55.0	+39.1							—	
外部(他人)から供給された電気の使用	26.7	21.7	69.7	48.2	43.8	▲ 4.4	+17.1							—	
絶縁ガスとしてSF <sub>6</sub> が封入された変圧器、遮断機等電気機械器具の使用や点検等	5.2	5.2	5.2	5.2	5.3	+0.1	+0.1							—	
自動車の走行や自動車用エアコンの使用	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	+0.0	+0.0							—	
合計		24,267.5	26,717.3	24,267.8	23,636.9	23,649.7	+12.9	▲ 617.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23,474.0	
削減目標との差		793.5	3,243.3	793.8	162.9	175.7	—	—	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	▲ 23,474.0	—

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計の値が合計欄の値と一致しない場合がある。

本計画に基づく措置及び施策の実施状況

・令和6年度の温室効果ガス(CO <sub>2</sub> 換算)排出合計量は、基準年度(令和2年度)と比べ617.7t-CO <sub>2</sub> の減であり、削減目標量との差は175.7t-CO <sub>2</sub> であった。 ・「要因別温室効果ガスの排出の内訳」において基準年度と比較すると、ごみ搬入量の減少に伴い「廃プラスチックの焼却」「一般廃棄物の焼却」は減少となったが、メンテナンスによる2炉停止期間が長かったことにより「外部(他人)から供給された電気の使用」が増加している。 ・前年度(令和5年度)と比較すると、12.9t-CO <sub>2</sub> の増である。メンテナンス等による炉の立ち下げ、立ち上げの回数の減に伴い「燃料の燃焼」が減少したほか、メンテナンスによる2炉停止期間が短かったことにより「外部(他人)から供給された電気の使用」も減少したが、一般廃棄物処理量に占める廃プラスチックの割合がわずかに増加したことにより、「廃プラスチックの焼却」の増加が前記の減少分を上回ったことによるもの。
--